

ARを活用した土砂災害リスクの可視化について

1 要旨・目的

土砂災害の危険性に対する県民の認識向上を図るため、土砂災害リスクを可視化する取組として、AR技術を活用し、周囲の土砂災害警戒区域等をスマートフォンのカメラ映像に重ねて表示する機能について、運用を開始する。

なお、本件は、「広島デジフラ構想」の一環として取り組むものである。

2 現状・背景

「平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動調査」において、早めの避難を促すためには、災害を可視化できるVR・AR等の技術を用いた疑似体験を通じて、豪雨災害について正確なイメージを持つことが重要であることが明らかとなった。これを受け、VRを活用した防災教育や土砂災害警戒区域等の3Dマップ表示などの取組を推進してきたが、その一環としてAR技術を活用した土砂災害リスクの可視化に取り組むものである。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

AR技術により自位置周辺の土砂災害警戒区域等をスマートフォンのカメラ映像画面に表示する機能を実装し、県民に対し広く周知する（本機能は「土砂災害ポータルひろしま」からアクセス可能）。

(3) スケジュール（運用開始日）

令和4年6月27日（月）

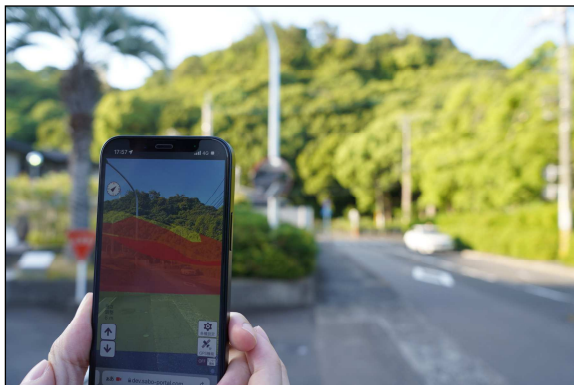
※大雨注意報以上の気象予警報が発表された場合は6月30日又は7月5日に延期する。

(4) 予算（国庫）

約17,000千円

4 その他（関連情報等）

土砂災害ポータルひろしま <https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal>



土砂災害警戒区域等のAR表示（イメージ）